

不適合情報

2026年5月8日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン建屋地下2階(管理区域)第2給水加熱器ドレンタンク(A)(B)室にて、防火扉が自動閉しないことを確認した。当該扉を点検・調整。なお、手動による閉操作に問題はなく、防火扉としての機能に影響なし。	2026/04/27	
2	6号機	タービン建屋(管理区域)南東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/04/29	
3	6号機	中央制御室において、炉心熱的制限値監視装置異常の警報が発報/停止を繰り返し、帳票が印字されないことを確認した。調査の結果、過去の監視データの蓄積がメモリ容量を超過したことによるものと判明。メモリの容量設定を増やし、帳票の印字が再開したことを確認済み。なお警報発生中も監視データの確認はできており、監視に影響がなかったことを確認済み。	2026/05/03	